

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-514471(P2000-514471A)

【公表日】平成12年10月31日(2000.10.31)

【出願番号】特願平10-500098

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 65/28

C 0 8 F 8/00

C 0 8 G 85/00

// C 0 8 G 81/00

【F I】

C 0 8 G 65/28

C 0 8 F 8/00

C 0 8 G 85/00

C 0 8 G 81/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月11日(2004.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年5月11日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第500098号

2. 補正をする者

名称 フォルシュングスツェントルム・ユーリッヒ・ゲゼルシャフト・
ミット・ベシュレンクテル・ハフツング

3. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号(虎の門電気ビル)

[電話 03(3502)1476 (代)]

氏名 弁理士(6955) 江崎 光史

4. 補正対象書類名

明細書、請求の範囲

5. 補正対象項目名

明細書、請求の範囲

方 式 査 査



6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙の通りに補正する。
- (2) 明細書第2頁20行の「エポキシ成分」を「エポキシモノマー成分」と補正する。
- (3) 明細書第5頁17～18行の「メチレン基の代わりにフェニレン基」を「メチル基の代わりにフェニル基」と補正する。
- (4) 明細書第9頁4行の「エチレンオキシドを」を「エチレンオキシドを使用して」と補正する。



請求の範囲

1. アニオン重合によって疎水性－親水性A B型ブロックコポリマーを製造する方法において、ブロックAのモノマー単位aが共役ジエンでありそしてブロックBのモノマー単位bがエポキシドであり、ブロックAを第一反応段階で非極性溶剤中で製造しそしてブロックBを第二反応段階で極性溶剤中で製造し、その際に第一反応段階を終了するために
 1. エポキシドおよび
 2. プロトン供与体を添加しそしてブロックBの重合をリチウム開始剤を除いたアルカリ金属開始剤によって行なうことを特徴とする、上記方法。
2. ブロックAの重合を開始剤としてリチウム有機化合物を用いて行なう請求項1に記載の方法。
3. ブロックBを重合するためのアルカリ金属開始剤として、アルカリ金属有機化合物、アルカリ金属水素化物およびアルカリ金属より成る群からの開始剤を使用する請求項1または2に記載の方法。
4. 第一反応段階のリチウム開始剤が二官能性開始剤である請求項3に記載の方法。
5. ブロックA中で生ずる二重結合を少なくとも部分的に水素化する請求項1～4のいずれか一つに記載の方法。
6. 二重結合を完全に水素化する請求項5に記載の方法。
7. ブロックAを純粋な成分aから製造する請求項1～6のいずれか一つに記載の方法。
8. ブロックAを少なくとも2種の異なるモノマーaおよびa'から製造する請求項1～6のいずれか一つに記載の方法。
9. ブロックBを純粋のモノマーbから製造する請求項1～8のいずれか一つに記載の方法。
10. ブロックBを少なくとも2種の異なる成分bおよびb'から製造する請求項1～8のいずれか一つに記載の方法。

11. 10～2000個のモノマー単位aの鎖長のブロックAを製造する請求項1～10のいずれか一つに記載の方法。
12. 20～500個のモノマー単位の鎖長のブロックAを製造する請求項11に記載の方法。
13. 10～2000個のモノマー単位bの鎖長のブロックBを製造する請求項1～12のいずれか一つに記載の方法。
14. 20～500個のモノマー単位bの鎖長のブロックBを製造する請求項13に記載の方法。
15. ブロックAのガラス転移温度が低いAB型ブロックポリマーを製造する請求項1～14のいずれか一つに記載の方法。
16. 請求項1～15のいずれか一つに従って製造したことを特徴とするAB型ブロックコポリマー。